

FY2016 Community Core Leaders Development Program

平成28年度 内閣府地域課題対応人材育成事業 「地域コアリーダープログラム」

英国団（高齢者分野）



医療法人真誠会
介護老人保健施設

弓浜ゆうとぴあ
岡田修治

主な内容

- 日本の高齢者福祉について
- 英国はどんな国？
- 派遣プログラムから学んだこと
- 見えてきたこと
- 日本と英国の比較
- これからどうする？団員の取組みと今後の動き

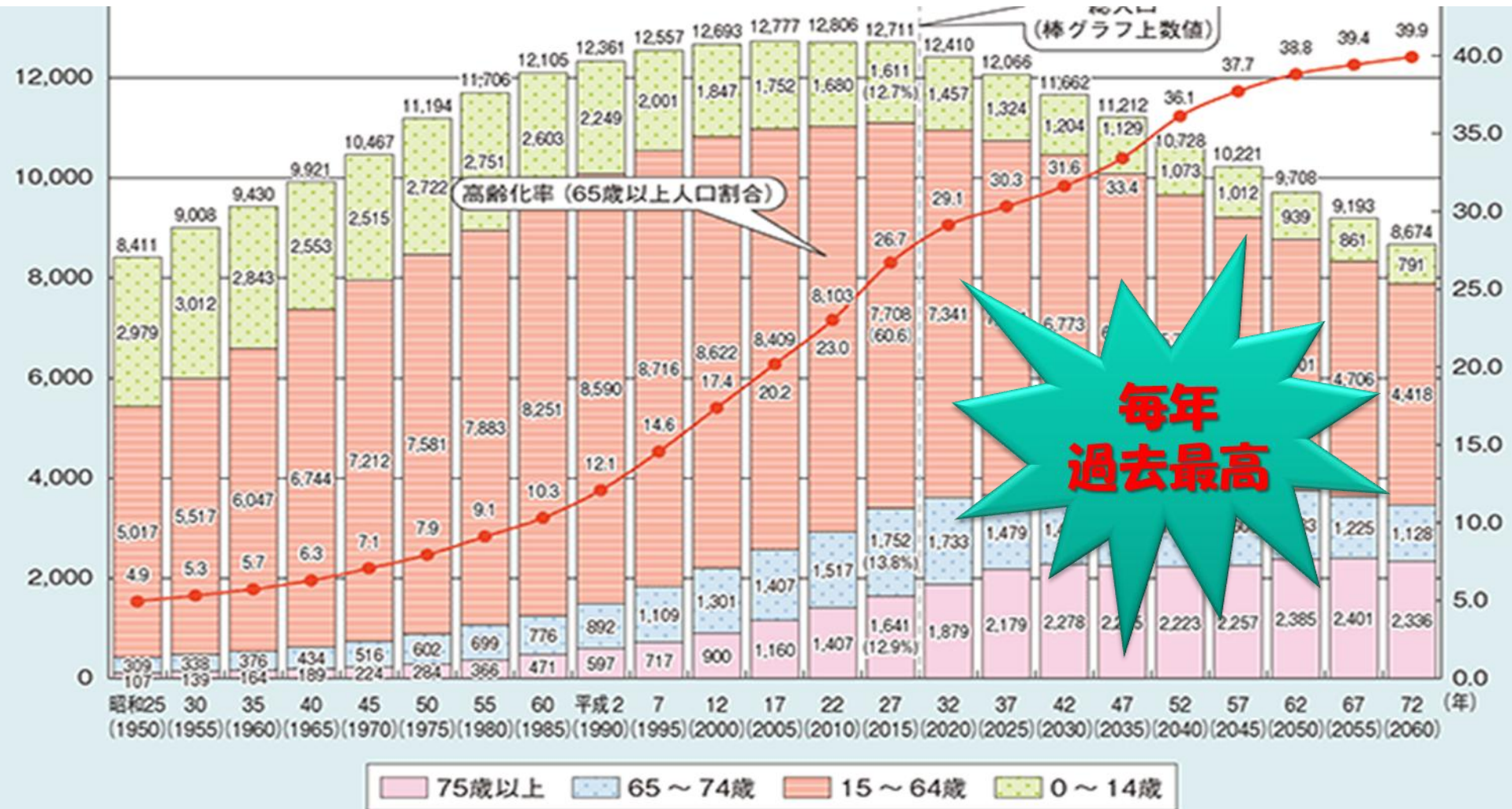


内閣府 地域コアリーダープログラム

- ・高齢者・障害者・青少年関連の社会活動にかかわる日本青年を3カ国へ派遣し、各分野の中心的担い手になる人材育成をする
- ・10日間、訪問国の内閣府・関連施設・団体等を訪問し、先進的な取り組みについて学び意見交換する
- ・日本青年派遣と外国青年招へい



◎わが国の高齢化率→26.7%（平成27年）



資料：2010年までは総務省「国勢調査」、2015年は総務省「人口推計（平成27年国勢調査人口速報集計による人口を基準とした平成27年10月1日現在確定値）」、2020年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（平成24年1月推計）」の出生中位・死亡中位仮定による推計結果

（注）1950年～2010年の総数は年齢不詳を含む。高齢化率の算出には分母から年齢不詳を除いている。

日本の超高齢社会

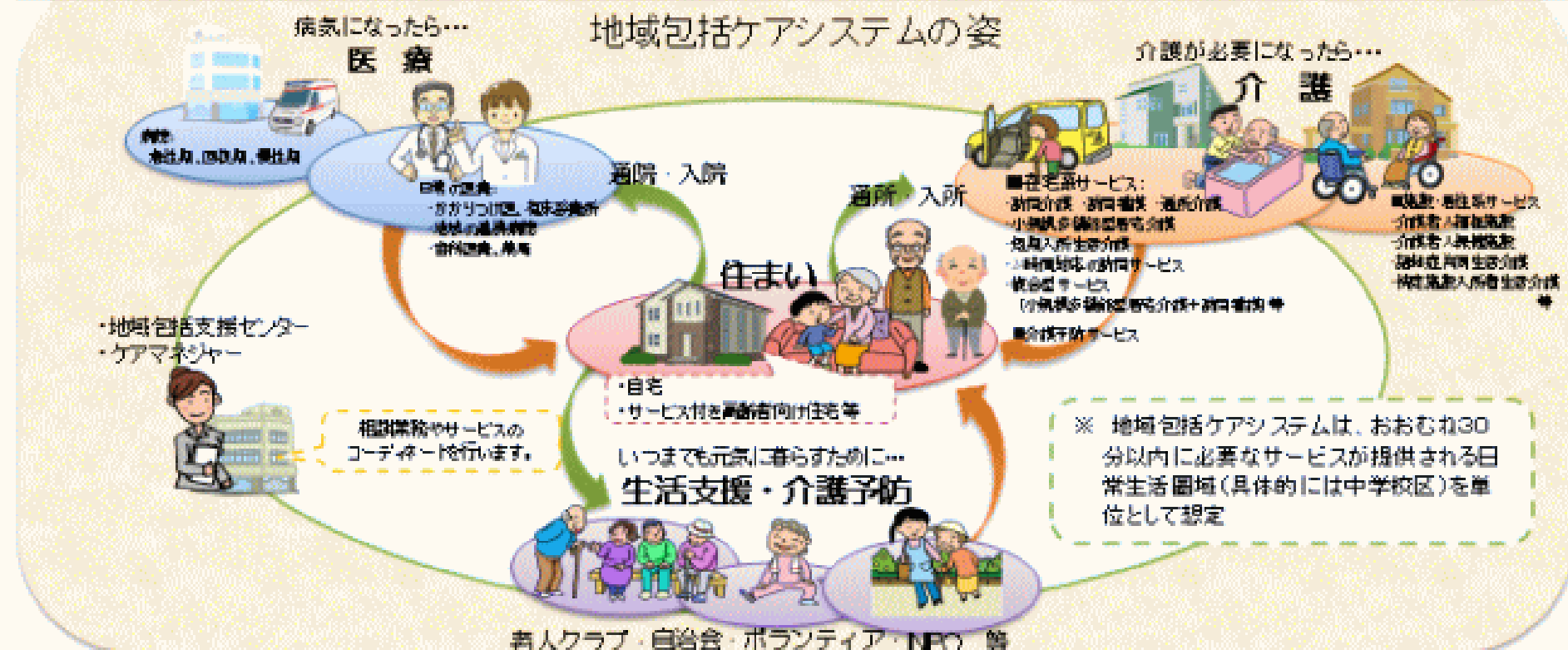
- 高齢化率26.7%（21%以上が超高齢社会）
- 平成72（2060）年には4人に1人が75歳以上
- 高齢者のいる世帯の割合は約8割、そのうち「単身高齢者」は約2割
- 過去最高となった世代は平成37（2025）年には65歳以上の認知症患者数が約700万人に増加
- 就労を希望する高齢者の割合は約7割

先行き不安・・・どうしよう？
介護が必要になったら・・・
どうしたらいいの？

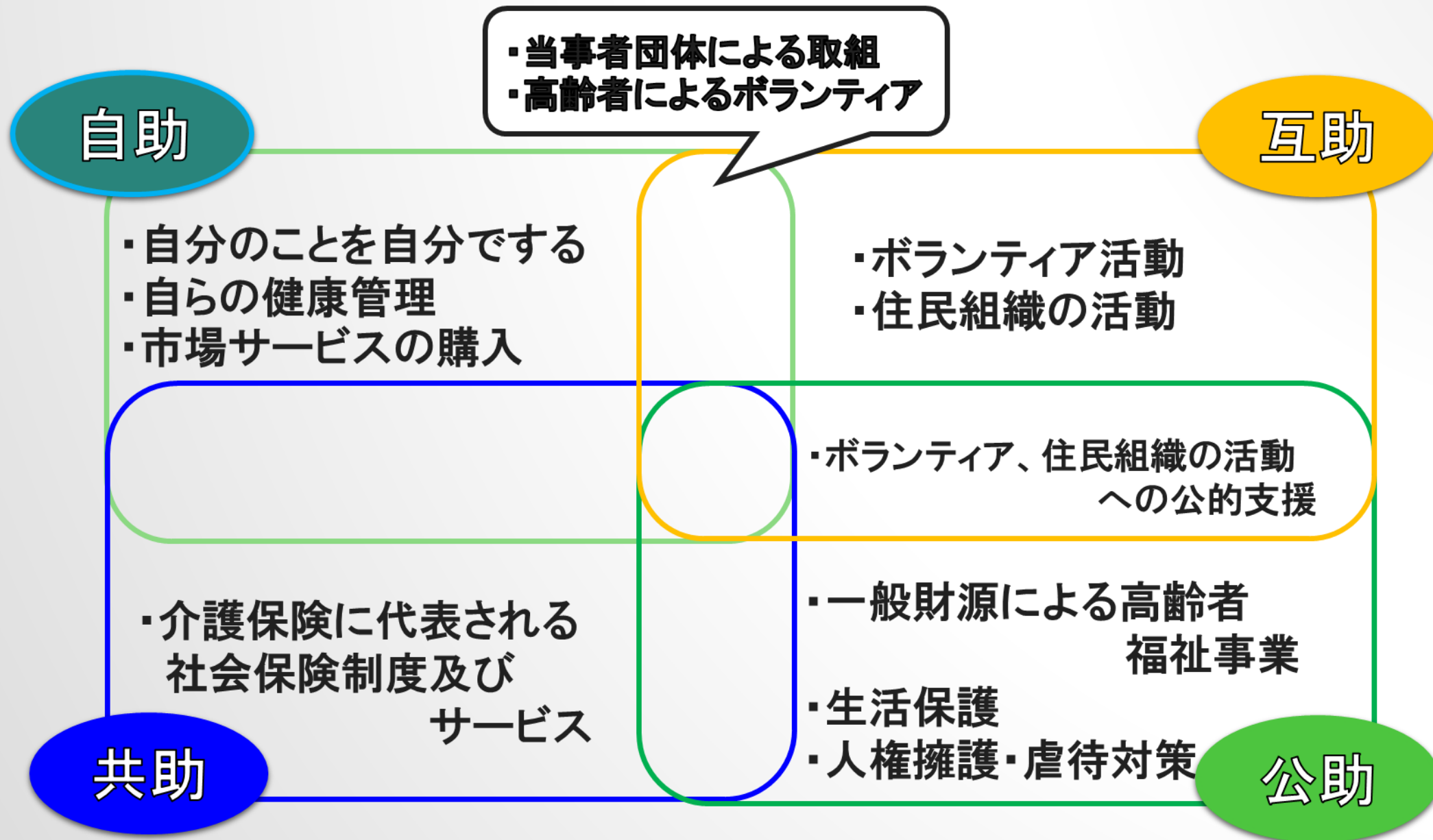
介護保険制度について

- 平成12年4月からスタート
住まいの**市区町村**（保険者）が制度を運営
- 40歳になると被保険者として介護保険に加入
- **65歳以上**の方は、市区町村（保険者）が実施する**要介護認定**において介護が必要と認定された場合、いつでもサービスを受けられる。
- 40歳から64歳までの人は、介護保険の対象となる特定疾病介護が必要と認定された場合、介護サービスを受けられる。

- 団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に、重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、**医療・介護・予防・住まい・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築を実現。**
- 今後、認知症高齢者の増加が見込まれることから、認知症高齢者の地域での生活を支えるためにも、地域包括ケアシステムの構築が重要。
- 人口が横ばいで75歳以上人口が急増する大都市部、75歳以上人口の増加は緩やかだが人口は減少する町村部等、**高齢化の進展状況には大きな地域差。**
- 地域包括ケアシステムは、**保険者である市町村や都道府県が、地域の自主性や主体性に基づき、地域の特性に応じて作り上げていくことが必要。**



「自助・互助・共助・公助」からみた地域包括ケアシステム





P lan

計画

英国団テーマ



英国における地域を支える各セクション（中間支援団体など）の
役割を理解し、地域包括ケアシステムがより効果的かつ
発展的に機能する地域連携の構築に向けたまちづくりを推進する。

英国 どんな国？

グレートブリテン及び
北アイルランド連合王国
United Kingdom of Great Britain and
Northern Ireland



EU離脱！



英国の基礎知識

	日本	英国
人口	1億2708万人	6,460万人
面積	37万8千km ²	24万3千km ²
高齢化率	26.7%	18.0%

- ・人口は日本が約2倍
- ・面積は日本が約1.5倍
- ・高齢化率は日本がダントツ



在英日本国大使館にて

D。

実行

ヒアリング
見たもの
感じたもの

英国政府

【英国内閣府・市民社会庁】

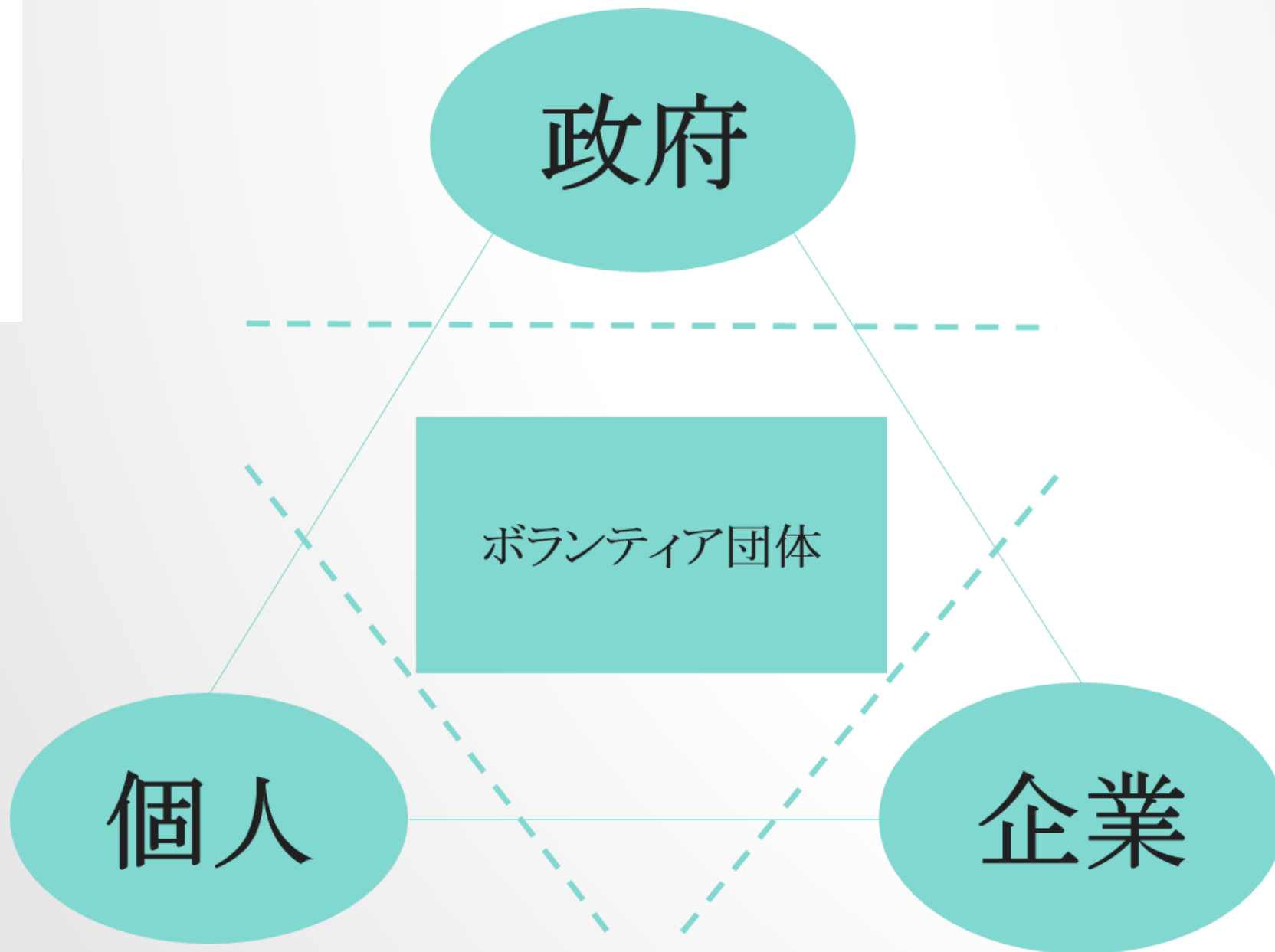
- ・ 高齢化が今後は更に進行していく
(高齢化率 英国 18.0%、 日本 26.7%)
- ・ **国家プロジェクト**として
特に**認知症(Dementia)**予防に対しての援助に力
早期発見・治療・支援・対応・啓発→ 社会性を大切に
研究と結果の共有
- ・ 財源が厳しいが英国社会にとって必要のあるところに
補助金を出している
→ 施設運営・**人材育成**・教育・ボランティア団体へ

【労働年金省】

- 50歳以上の労働斡旋
（英国では50歳で現役引退のイメージが強い）
- 年金の支給年齢が65歳→68歳に引き上げ予定
- EU離脱で国家財源の先行きが不安

【保健省】

- 医療は**国営**（NHS:**原則無料** GP:一般医）**消費税**財源
- 福祉（障害・高齢）サービスは地方公共団体
- 施設入所費用は原則自己負担
- 高齢者の**孤独問題**が大きく取り上げられた
- ソーシャルインパクトボンド （成果型補助金制度）





行政

補助金

福祉
地方自治体

寄付金

補助金



通所系

訪問系

寄付金

チャリティ団体

ボランティア団体

企業

国民

医療
国営



運営資金の流れ

【NCVO: 全国ボランティア団体協議会】



- ボランティア活動を推進するための団体
- ボランティア団体のコンサルティング
- コンパクト(政府とボランティア団体との契約)を締結
→ 政府と対等な関係(パートナーシップ)
- 継続的な資金調達
- 若者の教育、ボランティア等の人材育成
- 政策提言、ロビー活動
- 研究、評価、情報発信

研修(レクチャー)中



【AGE UK関連】

- 全ての高齢者が身体的にも精神的にも健康でいられるようにサポートする
 - 情報提供、相談窓口
 - 政策提言、ロビー活動
 - 研究
 - 日常生活へのサポートも実施
- EX) キャンペーン事業、チャリティイベント、
電球交換、ネイルケア、冬の寒さ対策、ランチ
クリスマスの飾りなどの細かいサポートまで





【ケア・フォー・ケアラーズ】

- ・東サセックス州の**ケアラーを支援**する
 - ＊ケアラー（介護者：例えば家族、親類など）
- ・ケアラーのための情報提供、相談、集会、面談、カウンセリング、ワークショップなどを開催
- ・ケアラーの**身体・精神・社会性**を保つ取り組み

【イーストボーン シェード】

- ・高齢者の**引きこもりを防ぎ**社会的活動を支援する
- ・利用者は男性 **木工作業**を通じた社交場作り
- ・作業場の木材や道具は企業や地域からの**寄付**
- ・作るものは個人の趣味から、家具、地域からの依頼も



元気に活躍！親父たち！これぞ地域コミュニティ！



町の至るところにチャリティショップあり！



駅でもチャリティー 売り上げを癌研究費に



楽しかった
ホームステイ♪
他国の文化に触れるすばらしさ！



ステイアップ・レイト



ホストファミリーのケイトさん



ケアラーとしての一面



Brighton ブライトンでのホームステイ



ブライトン最古のパブ



ホストファミリーのティナ・シンクラー氏と
アラン・モーリー氏



カレーが人気

余暇の充実！ 障害者と一緒に音楽を♪（ギグ・バディの活動）



FOODBANK



自宅で交流



政府

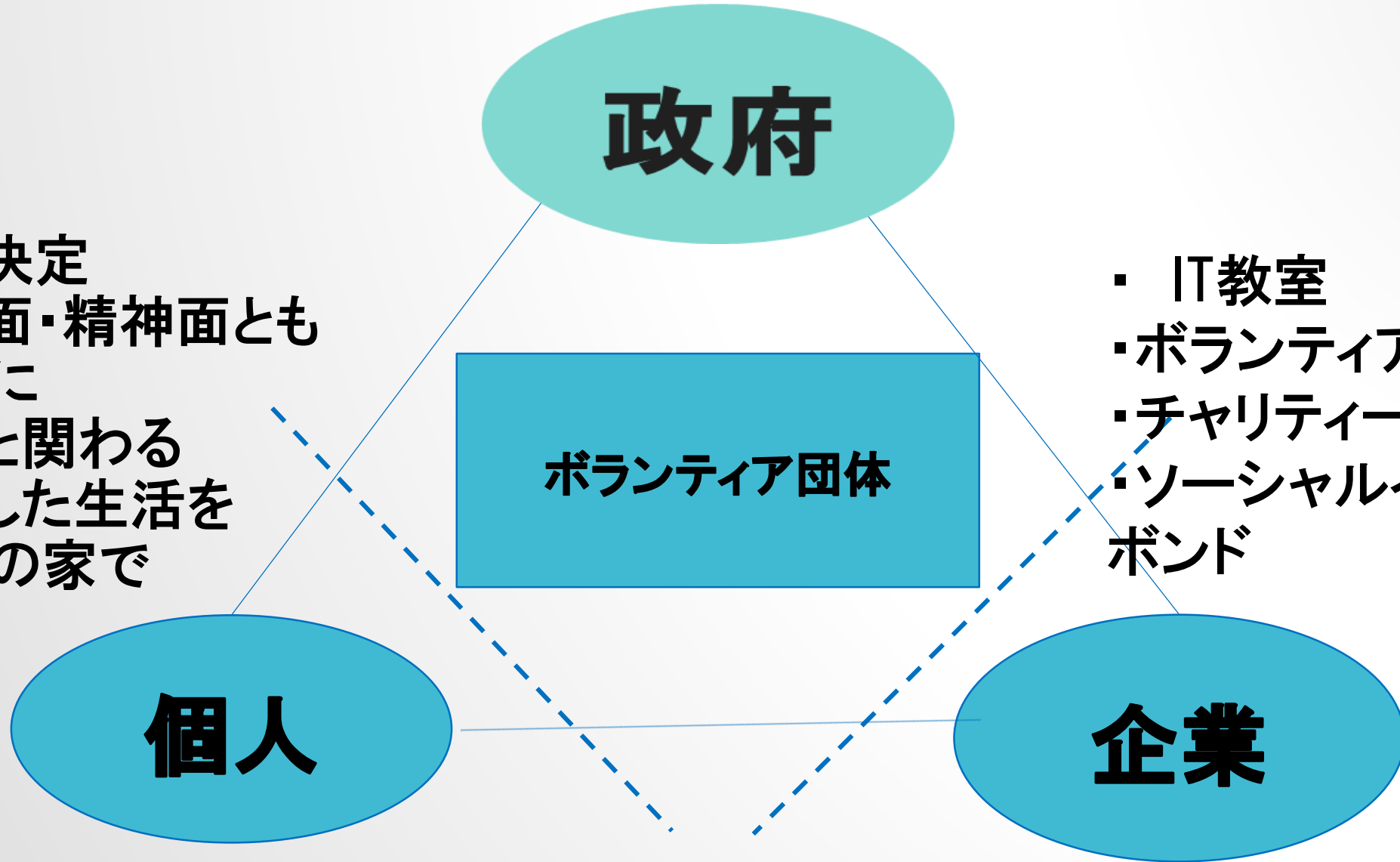
ボランティア団体

個人

企業

- ・自己決定
- ・身体面・精神面とも健康に
- ・社会と関わる
- ・自立した生活を自分の家で

- ・IT教室
- ・ボランティア活動
- ・チャリティー
- ・ソーシャルインパクトボンド



【自己決定】

- ・本人の**意思を尊重**
- ・自己決定出来ない場合は・・・ガイドラインやルール順守
- ・本人に危険や害が伴わない最良の方法を
- ・本人をよく知る人が 本人の立場で考える

【企業の取組】

- ・社員の専門性を社会に還元する
- ・チャリティーやボランティア
- ・**ソーシャルインパクトボンド**（画期的な企画に投資）

【見えてきたもの】

- 英国は**自助**や**互助**が強い(**予防と支援**)
- 福祉サービスのシステムが構築されていない
- 医療サービスは国営(NHS 国民医療保健、GP 一般医)
- **地域格差** (福祉団体の連絡や連携が出来ている地域とそうでない地域がある)
- 研究を行い、**実績**を出したことにに対して**補助金支給**
- **政策提言**の実施
- **ボランティア精神**に関わる**教育**や**生活**スタイルが確立されている



フラム・グッドネイバーズ交流会

Check

- ・ 照らし合わせる
- ・ 違いを見出す

日本



コミュニティは自然に出来たもの

専門職が直接ケアに携わる

医療・高齢福祉とも保険サービス

共助・公助が強い

発生対応のボランティアが多い

事業に対して補助金支給

介護保険事業所が定形サービスを提供

行政が施策立案決定

英国



コミュニティは自分達でつくるもの

ボランティアが積極的に携わる
(専門職だけではない)

医療は政府、福祉は地域で支える

自助・互助が強い

日常的なボランティア

実績に対して補助金支給

ボランティア団体が不定形なサービスを提供

政策提言するボランティア団体の存在

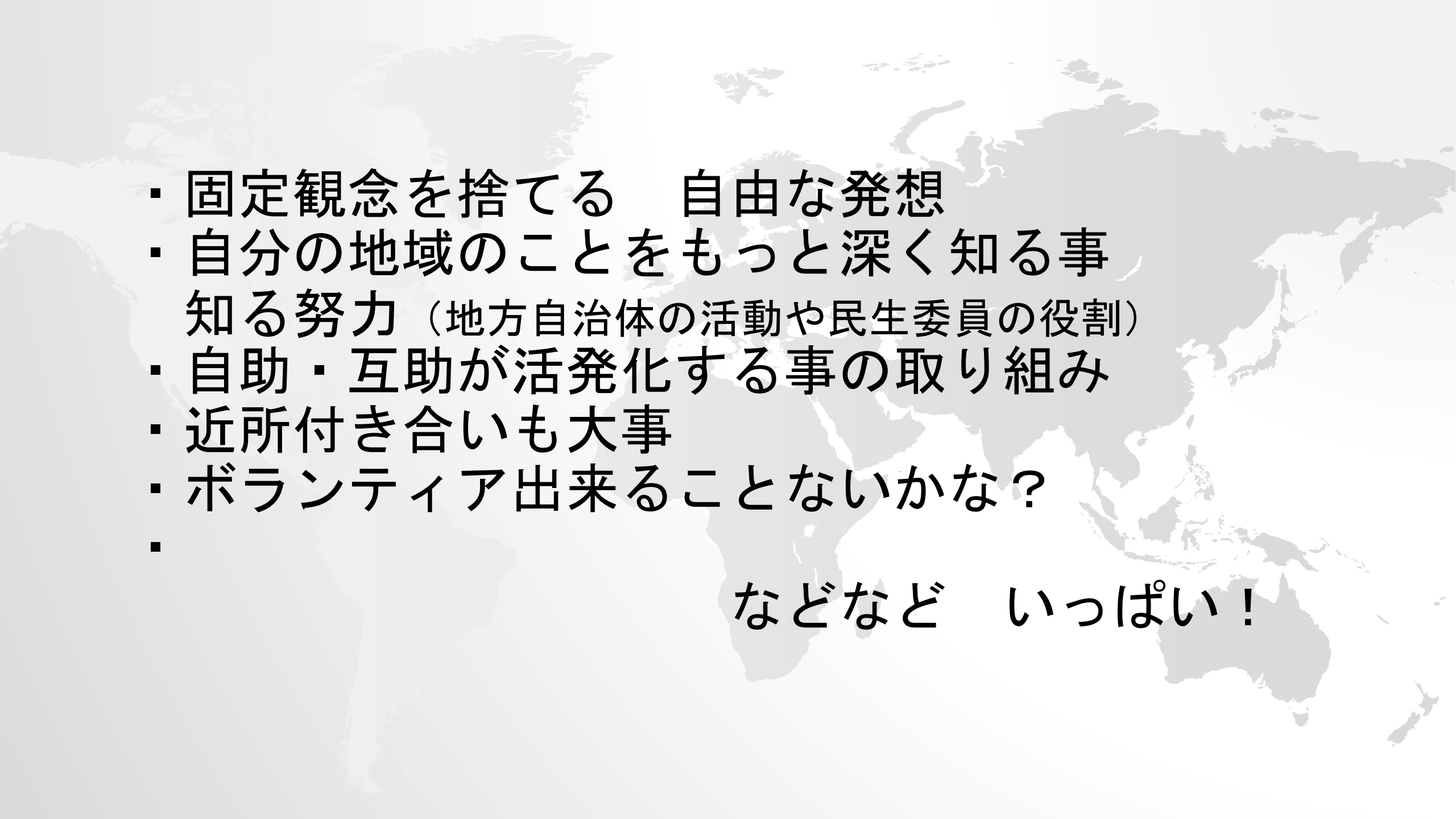
- **潜在的な資源の発掘と活性化**
(EX：民生委員、自治会など)
- **本当はすごい 日本 of 地方自治体**
- **社会福祉協議会がNCVOの様な取り組みを促進**
- **医療法人、社会福祉法人、NPO法人、民間企業との連携**
- **地域包括支援センターとの連携**
- **日常的なボランティア精神を育む幼少期からの教育**
- **専門職とボランティアの適正配置**(効率的に業務が行える)



Actions

何ができるか
何をすべきか

私たちが出来ること???

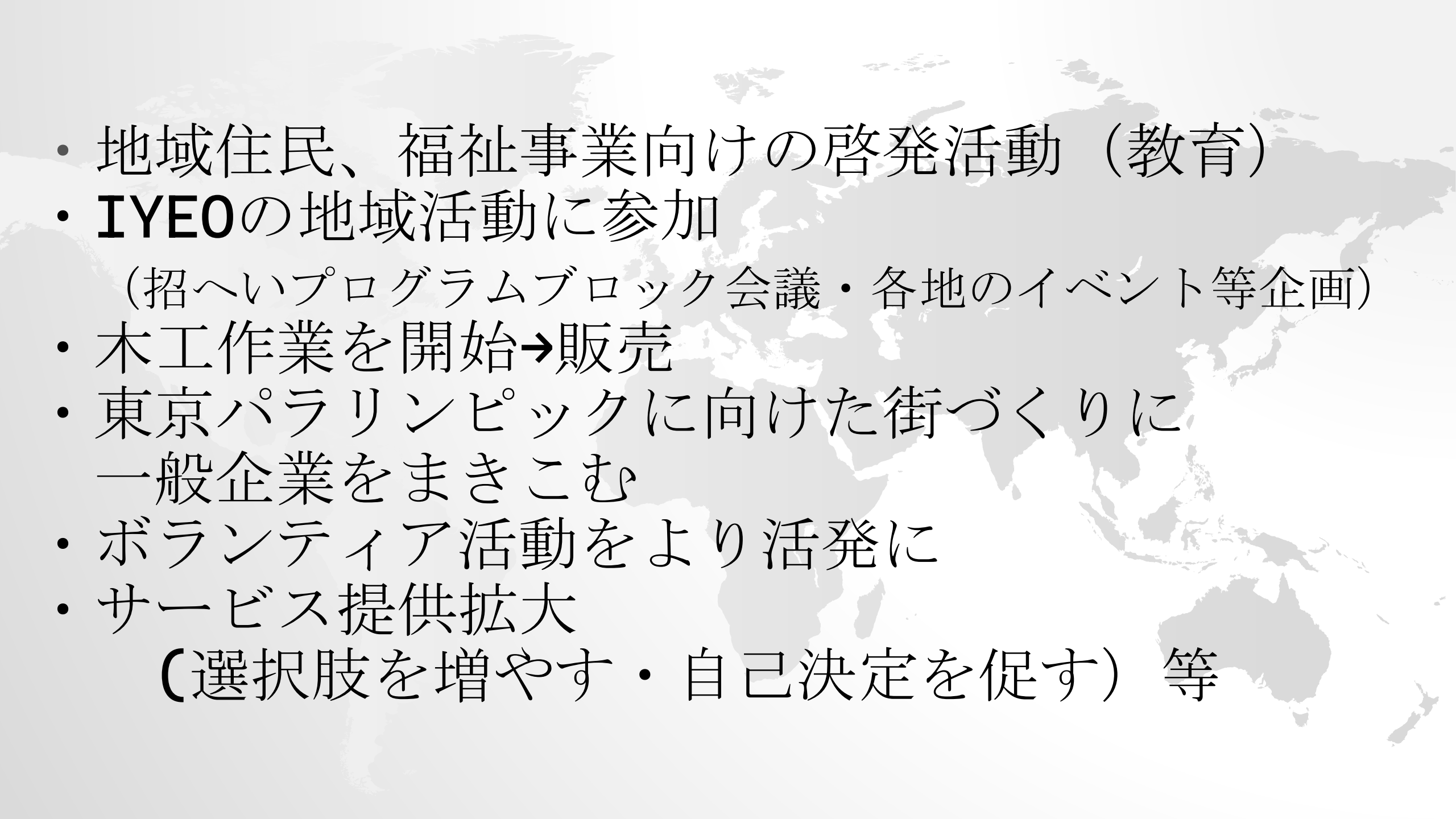
- 
- 固定観念を捨てる 自由な発想
 - 自分の地域のことをもっと深く知る事
知る努力（地方自治体の活動や民生委員の役割）
 - 自助・互助が活発化する事の取り組み
 - 近所付き合いも大事
 - ボランティア出来ることないかな？
 -

などなど いっぱい！

団員の取組み (ACTIONS)

- ・ 報告会の開催
(職場・地域・自治体・学校・同職者の集まりや勉強会・・・等)
- ・ 地域連携に向けたミーティングの開催
- ・ 地域包括ケアシステムの推進 (各職種の役割)



- 
- 地域住民、福祉事業向けの啓発活動（教育）
 - **IYEO**の地域活動に参加
（招へいプログラムブロック会議・各地のイベント等企画）
 - 木工作業を開始→販売
 - 東京パラリンピックに向けた街づくりに
一般企業をまきこむ
 - ボランティア活動をより活発に
 - サービス提供拡大
（選択肢を増やす・自己決定を促す）等



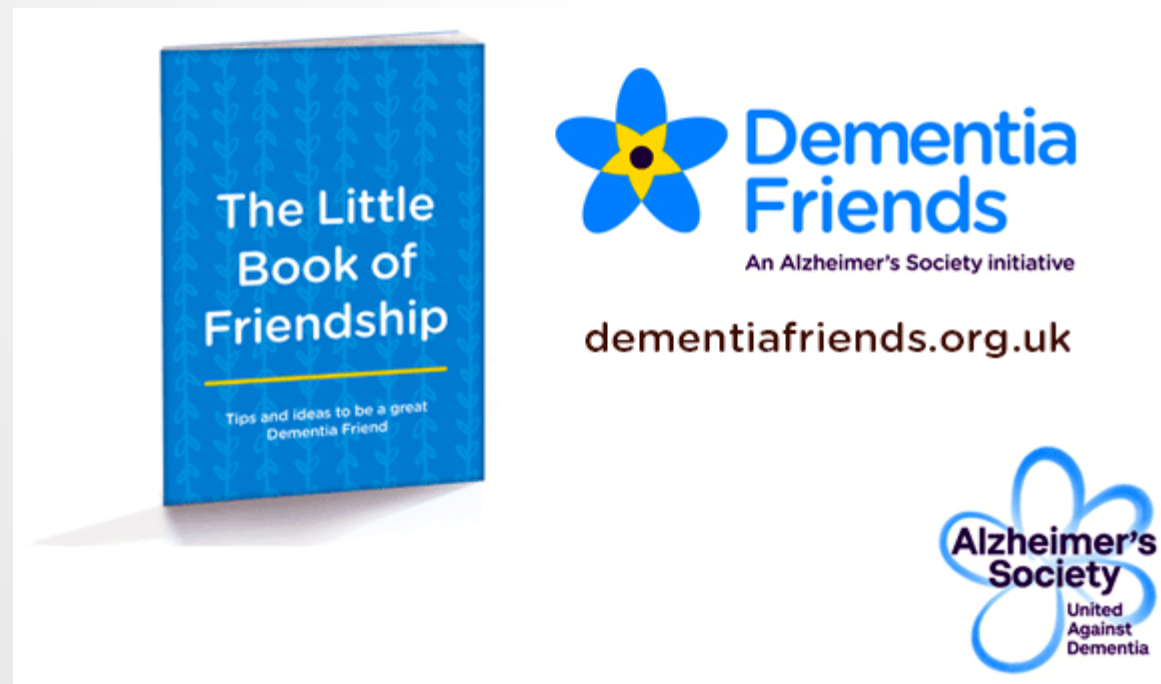
Japanese Delegates Visit Age Concern Eastbourne



英国メディアに取り上げられ、
他国の文化と触れ合い、
私達にとって何にも代えがたい
貴重な体験となりました！

- ・ **英ヒースロー空港、世界初の「認知症にやさしい」空港へ**
- ・ ヒースロー空港株式会社（以下、ヒースロー空港）は、イギリスアルツハイマー病協会（以下、協会）と協同して、「世界で初めての“認知症にやさしい”空港」となると発表した。
- ・ 協会が推進する「認知症にやさしい地域社会（コミュニティ）」と保ばれるプログラムに参加し、職員7万6000人に対して必要な研修を行い、認知症に対する認識を深める。プログラムでは「認知症フレンド」という講義や研修、オンライン講習が用意されている。
- ・ 第一線の現場で、障害のある人などに対する特別支援を行うチームでは、常に認知症の人と触れ合う「認知症フレンド」となるが、同チームのスタッフ約1000人が9月末までに研修を受ける。

イギリスでは、英国アルツハイマー協会（ALZHEIMER'S SOCIETY）により、英国版の認知症サポーター制度「DEMENTIA FRIENDS」が実施されています。認知症フレンズは、英国アルツハイマー協会の訓練を受けたボランティアの認知症フレンズチャンピオンが開催する約1時間の情報セッション（対面講習）に出席して学びます。あるいは、オンラインビデオを見て学ぶこともできます。認知症フレンズの証となる「バッジ」と「THE LITTLE BOOK OF FRIENDSHIP」を受け取ることができます。





ここからが私達の始まりです！
今後の活動にご期待下さい。
ご清聴ありがとうございました。